

令和2年10月26日

伊勢市長 鈴木健一様

伊勢市総合計画審議会  
会長 新田 均

### 第3次伊勢市総合計画の進行管理について（答申）

令和元年8月29日付け31企第445号で諮問のありました第3次伊勢市総合計画の進行管理について、令和2年度進行管理について、下記の通り答申します。

#### 記

##### 1. 計画全般について

新型コロナウイルス感染症により、社会が大きく変化しており、ウイズ・コロナ、ポスト・コロナの社会像を想定しつつ、計画に定めた方向性等の見直し、また、新たな課題への対応等、柔軟に対応されたい。

##### 2. 分野別計画について

別紙のとおり

◆分野別計画について

分野	内容
<p>第1章 市民自治・市民交流</p>	<p><b>【章全体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症禍におけるイベント・集会・会議等について、開催基準や対策の例示等、開催に向けた支援や助言等を行われたい。</li> </ul> <p><b>【第1節 地域コミュニティ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定年延長等により若い世代の参加が難しくなっており、これまで以上に地域コミュニティの高齢化の進行が危惧される中、自治会、コミュニティに関する行政としての考え方を整理・発信し、取組を進められたい。</li> <li>まちづくり協議会について、認知度の向上を図られたい。</li> <li>まちづくり協議会について、自治会との関係性等、まちづくり協議会の役割を整理し、地域住民等の理解向上、参加の促進を図られたい。</li> <li>核家族化の進行等により、地域コミュニティへの参加について、親から学ぶ機会も少なくなっている実態を踏まえた地域コミュニティ活性化の方向性を示されたい。</li> <li>在住外国人と地域コミュニティをつなぐ取組を進められたい。</li> </ul> <p><b>【第3節 人権尊重・男女共同参画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いじめや差別に遭われた方が誰にも相談できないことがないように、相談機能の充実・拡大を図られたい。</li> <li>新型コロナウイルス感染症禍において、感染者への差別やいわゆる「自粛警察」などの新たな問題が発生しており、重大な人権課題と位置付け対策に取り組まれたい。</li> </ul>
<p>第2章 教育</p>	<p><b>【章全体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章全体を通じて、章の目指す姿にある「郷土を愛し」に対する取組、また、「伊勢らしさ」が感じられる取組を充実されたい。</li> <li>「できること」を目標とすることなく、教育への意気込みをもって取組を進められたい。</li> </ul> <p><b>【第1節 学校教育】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不登校対策として、スマホ依存への対策等にも、学校と親が連携して取り組まれたい。</li> <li>新型コロナウイルス感染症禍における学校行事等については、「やらなければ何も起きない」という発想ではなく、「どうすればできるか」を考えて取り組まれたい。</li> <li>ICT教育の導入においては、親が子の学習状況等を把握できるよう、親子間の知識・意識の格差を埋める取組についても検討されたい。</li> <li>新型コロナウイルス感染症禍により、子どもたちはこれまでにないストレスを受けているため、スクールカウンセラー等の相談機能の充実等に努められたい。</li> <li>重点課題の成果指標の実績値が低下していることについて、具体的施策を明記してしっかりと分析を行い、今後の取組を進められたい。</li> <li>総合計画審議会の指摘等への対応状況の「指摘事項(令和元年度)」に対する「対応状況」の記述が具体性を欠いているので記述を改善していただきたい。</li> </ul>

分野	内容
第2章 教育	<p><b>【第3節 スポーツ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康増進の視点も踏まえて、福祉分野とも連携の上、取り組まれない。</li> </ul> <p><b>【第4節 文化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伝統文化の継承が難しくなっているが、継承とともに新しい文化の創出、発信にも取り組まれない。</li> <li>短詩型文学祭においては、伊勢にゆかりのある荒木田守武や西行について学習する機会も提供されたい。</li> </ul>
第3章 環境	<p><b>【章全体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章全体を通じて、SDGs を踏まえた取り組みを進められたい。</li> </ul> <p><b>【第1節 循環型社会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電については、ソーラーシェアリングのような環境配慮型の手法等の把握に努め、取り組まれない。</li> </ul>
第4章 医療・健康・福祉	<p><b>【第1節 医療・健康】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症に関して、感染者数だけでなく医療提供体制の状況等についても正しく情報発信し、市民が過度に恐れることなく、必要な社会経済活動を行うことができるような環境づくりに取り組まれない。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の感染者が、安心して治療に専念でき、また、所属する企業、団体等の活動も滞ることがないような社会的保護についても取り組まれない。</li> <li>新型コロナウイルス感染症禍において、地域の医療提供体制を守る対策を講じられたい。</li> <li>社会経済活動を行うためのPCR検査等の体制を検討されたい。</li> </ul> <p><b>【第2節 地域福祉】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症禍による生活困窮者の状況把握に努め、適切な対策を講じられたい。</li> <li>生活困窮等の問題把握の入り口として、待つだけでなく外に出ていくような相談機能の充実を図られたい。</li> </ul> <p><b>【第3節 共生】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者の「親亡き後」に関する対策について取り組まれない。</li> <li>障がい者・家族にとって現実的で具体的な生活に関する施策に重点的に取り組まれない。</li> </ul>
第5章 防災・防犯・消防	<p><b>【第1節 防災・減災】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症禍における避難所運営において、マスク着用や密回避行動等の順守が難しい障がい者も安心して避難ができるよう、避難所環境の整備や現場対応について、対策を講じられたい。</li> <li>新型コロナウイルス感染症禍における避難について、分散避難については、在宅避難者等の状況把握方法などの課題もあり、十分な検討を行われたい。</li> <li>避難所において要配慮者に適切に対応できるよう、全避難所担当職員の対応能力を高める学習機会を提供されたい。</li> </ul>

分野	内容
第5章 防災・防犯・消防	<p><b>【第2節 防犯】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット上での誹謗中傷について、犯罪であることの啓発を行われたい。</li> </ul> <p><b>【第3節 消防・救急】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重点課題の成果指標「延焼阻止率」については、火災発生状況による変動幅が大きいので、進捗評価にふさわしい指標を検討されたい。</li> </ul> <p><b>【第4節 交通安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全教室等で活用する動画コンテンツを作成するにあたっては、一般的なものは既にあるため、市内の事故事例等を題材にしたコンテンツを作成するなど、より啓発効果等を高める工夫を行われたい。</li> </ul>
第6章 産業・経済	<p><b>【第1節 農林水産業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物のブランド化については、「伊勢ならでは」「伊勢といえば」という視点で、「なぜ伊勢ブランドなのか」についてストーリー性のある展開を図られたい。</li> <li>・ブランド化に取り組んでいる6品目については、作付面積、販売数量、収益についての指標を設けられたい。</li> <li>・自然災害による収入の不安定さを緩和する共済制度等の周知・充実を図られたい。</li> <li>・鳥獣被害対策を強化されたい。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症を受け、人の移動・物流に影響がある中、安全面の優位性を生かした地産地消の取組を強化されたい。</li> </ul> <p><b>【第2節 商工業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響は甚大であり、関係団体等と連携し、実情に応じたきめ細やかな支援を実施されたい。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策としての事業者支援においては、支援対象や支援額算定根拠として事業者または事業所のいずれが適切か等、十分な精査を行い、公平性と実効性を確保した支援策を講じられたい。</li> </ul> <p><b>【第3節 観光】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症を受けた観光振興について、まずは県内観光を促すなど段階的に取り組まれたい。</li> <li>・官民が連携し、安全・安心な観光地づくりに取り組むとともに、過度に感染を恐れ委縮することがないように、取組状況等について広く内外に発信されたい。</li> <li>・観光客個人個人が密を避けた対応を行うなど、従来とは観光形態の変化もみられることから、消費額の向上やターゲット層の絞り込み、観光+αの価値提供など、将来を見据えた対策を講じられたい。</li> </ul> <p><b>【第4節 就労・雇用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の雇用への影響が危惧される場所であり、新卒者の就労支援等、有効な対策を講じられたい。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症を契機として、在宅勤務等、勤務形態が変化している状況の中、労務管理や賃金の取り扱い等について、関係機関と連携しながら改善を図られたい。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症を契機として、都市部からのオフィス移転の動きもあるため、オフィス誘致についても対策を検討されたい。</li> </ul>

分野	内容
<p>第7章 都市基盤</p>	<p><b>【第2節 交通環境】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の自動運転社会を見据えて、バスの自動運転についても研究されたい。</li> </ul> <p><b>【第3節 河川・排水】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水位計の設置について、国・県との連携、また、ソフトとハードの連携を図り、データをより有効に活用されたい。</li> </ul> <p><b>【第4節 住環境】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地籍調査について、大規模災害の復興事業に備え、一日も早く終了するよう取り組まれたい。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症を受け、都市におけるオープンスペースの必要性・重要性がクローズアップされていることから、中規模公園の整備についても検討されたい。</li> </ul>
<p>第8章 市役所運営</p>	<p><b>【第1節 行財政運営】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症を契機として、対面による申請等を見直し、印鑑の見直しを含めた行政手続きのオンライン化に、国の動向にも注視しながら中長期的な課題として取組まれたい。</li> <li>・総合計画基本構想の認知度を向上させるための具体的施策を示されたい。例えば、小中学校での学習機会を講じる等により、認知度の向上に努められたい。</li> </ul> <p><b>【第2節 行政組織力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員のプロ意識の向上・組織力の強化について、特に重視する力を具体的に示されたい。</li> <li>・伊勢市人材育成基本方針に掲げる人材像（語れる、感じる、考える、行動する、極める）について、職員がどう理解しているかを記載されたい。</li> </ul>